



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 フジテック株式会社
 コード番号 6406 URL <http://www.fujitec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山 高一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員財務本部長 (氏名) 加藤 義一 (TEL) (072) 622-8151
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	39,169	7.9	1,953	66.9	2,371	42.8	1,707	60.8
2019年3月期第1四半期	36,312	△5.7	1,170	△37.3	1,659	△28.0	1,061	△40.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 2,363 百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 △1,915 百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	21.11	21.10
2019年3月期第1四半期	13.15	13.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	185,770	114,280	55.3
2019年3月期	184,690	113,923	55.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 102,776 百万円 2019年3月期 102,807 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	20.00	—	25.00	45.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	83,000	7.1	4,700	13.4	5,300	6.8	3,600	△8.5	44.51
通期	171,000	0.1	10,400	0.8	11,300	△5.2	8,500	△7.8	105.10

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期1Q	90,067,000株	2019年3月期	90,067,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	9,179,883株	2019年3月期	9,198,282株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期1Q	80,876,303株	2019年3月期1Q	80,720,976株

(注) 期末自己株式数には、従業員持株会支援信託ESOPとして保有する当社株式数を含めて表示しています。

2020年3月期1Q 195,000株 2019年3月期 213,500株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の変動に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(金額単位：百万円未満切捨て)

	前第1四半期 連結累計期間 (2018年4月1日～ 2018年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (2019年4月1日～ 2019年6月30日)	前年同四半期比 (%)
売上高	36,312	39,169	7.9
国内	14,173	16,258	14.7
海外	22,138	22,910	3.5
営業利益	1,170	1,953	66.9
経常利益	1,659	2,371	42.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,061	1,707	60.8
1株当たり四半期純利益	13.15円	21.11円	—

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米中に加え日韓で通商問題が発生するなどの懸念は存在するものの、全体としては堅調に推移しました。米中貿易摩擦の中、米国では堅調な個人消費により着実に回復が続く一方で、中国では貿易高の減少や消費が低下するなど、景気はやや減速しました。その他では、インドをはじめとするアジア地域では景気は底堅く推移しました。日本では、雇用や所得面の改善が続くとともに、個人消費や設備投資の増加などに支えられ、景気は緩やかに回復しました。

昇降機業界におきましては、中国、南アジアでの価格競争は継続するものの、需要は北米を含め、総じて堅調に推移しました。日本では、建築市場で建築費の上昇から新規着工を手控える動きが見られ、需要はマンション向けが首都圏・近畿圏ともに減少し、店舗や事務所といった非居住施設向けも伸び悩みました。

このような情勢のもと、当第1四半期連結累計期間の国内市場は、新設事業では、マンションや店舗向けの受注は横ばいで推移しましたが、事務所やホテル向けで減少しました。既設のエレベータやエスカレータの安全性・快適性・デザイン性を向上させるモダンゼーション事業では、官公庁向けの受注が引き続き増加するなど、堅調に推移しました。

海外市場では、中国や香港で新設工事が伸長し、東アジアでの受注は大きく増加しました。

以上の結果、国内受注高180億14百万円（前年同四半期比2.6%減）、海外受注高253億98百万円（同23.7%増）となり、受注高合計は434億12百万円（同11.3%増）となりました。なお、海外受注高は為替変動による影響を除くと、実質26.9%増となっています。

売上高は、国内売上高162億58百万円（前年同四半期比14.7%増）、海外売上高229億10百万円（同3.5%増）となり、合計で391億69百万円（同7.9%増）となりました。なお、海外売上高は為替変動による影響を除くと、実質6.3%増となっています。

受注残高は、国内受注残高676億29百万円（前連結会計年度末比2.7%増）、海外受注残高1,422億34百万円（同0.1%減）となり、合計で2,098億64百万円（同0.8%増）となりました。なお、海外受注残高は為替変動による影響を除くと、実質1.8%増となっています。

損益面では、営業利益は南アジアの減少に対し、日本および東アジアの増加により、19億53百万円（前年同四半期比66.9%増）、経常利益は、23億71百万円（同42.8%増）となりました。税金等調整前四半期純利益は、前年同四半期の事務所移転費用の影響がなくなり、23億48百万円（同57.6%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億7百万円（同60.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

当第1四半期連結会計期間より、従来の報告セグメント「北米」と「欧州」は、「欧州」の量的な重要性が乏しくなったため、「北米・欧州」に集約して記載する方法に変更しています。なお、以下は、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

(金額単位：百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益または営業損失		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同四半 期比 (%)	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同四半 期比増減額
日 本	14,899	16,996	14.1	235	626	390
東アジア	13,335	14,626	9.7	△126	417	543
南アジア	4,665	4,154	△11.0	822	716	△105
北米・欧州	6,031	6,125	1.6	192	234	42
小 計	38,932	41,902	7.6	1,123	1,995	871
調 整 額	△2,620	△2,733	—	46	△41	△88
合 計	36,312	39,169	7.9	1,170	1,953	782

(日 本)

売上高は、新設事業、アフターマーケット事業ともに増加し、169億96百万円（前年同四半期比14.1%増）となりました。営業利益は、修理工事や保守の売上増により、6億26百万円（同3億90百万円増）となりました。

(東アジア)

売上高は、中国での新設工事が増加したことにより、146億26百万円（前年同四半期比9.7%増）となりました。営業利益は、中国での売上高増加や韓国での輸出の採算改善により、4億17百万円の営業利益（前年同四半期 営業損失1億26百万円）となりました。なお、為替変動による影響を除いた売上高は、実質14.0%増となりました。

(南アジア)

売上高は、新設工事の減少により、41億54百万円（前年同四半期比11.0%減）となりました。営業利益は、新設工事の採算低下で、7億16百万円（同1億5百万円減）となりました。なお、為替変動による影響を除いた売上高は、実質8.6%減となりました。

(北米・欧州)

売上高は、アフターマーケット事業の増加により、61億25百万円（前年同四半期比1.6%増）となりました。営業利益は、アフターマーケット事業の売上増により、2億34百万円（同42百万円増）となりました。なお、為替変動による影響を除いた売上高は、実質2.0%増となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産額は、1,857億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億80百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少に対し、現金及び預金、仕掛品が増加したことによりです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億23百万円増加し、714億90百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少に対し、前受金が増加したことによりです。

純資産額は、1,142億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億57百万円増加しました。これは主に、期末配当金の支払による利益剰余金の減少に対し、為替換算調整勘定の増加3億80百万円によりです。また、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は55.3%（前連結会計年度末比0.4ポイント減）となり、1株当たり純資産額は1,270.62円（同0.66円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期 第2四半期（累計）（2019年4月1日～2019年9月30日）および2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の連結業績予想につきましては、2019年5月10日に公表した予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,244	53,866
受取手形及び売掛金	54,680	52,793
商品及び製品	5,891	5,919
仕掛品	6,168	7,184
原材料及び貯蔵品	9,232	8,444
その他	5,003	5,972
貸倒引当金	△2,039	△2,221
流動資産合計	131,181	131,959
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,514	20,308
機械装置及び運搬具（純額）	3,700	3,646
工具、器具及び備品（純額）	2,081	2,088
土地	6,920	6,918
リース資産（純額）	333	440
建設仮勘定	397	504
有形固定資産合計	33,948	33,906
無形固定資産		
のれん	213	189
その他	3,661	3,631
無形固定資産合計	3,874	3,820
投資その他の資産		
投資有価証券	8,796	8,602
長期貸付金	2	2
その他	6,999	7,589
貸倒引当金	△113	△111
投資その他の資産合計	15,684	16,083
固定資産合計	53,508	53,811
資産合計	184,690	185,770

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,010	15,204
電子記録債務	5,386	5,198
短期借入金	3,298	2,225
1年内返済予定の長期借入金	256	247
未払法人税等	1,849	1,592
賞与引当金	2,513	3,488
工事損失引当金	4,695	4,884
その他の引当金	840	866
前受金	21,176	23,220
その他	10,215	10,101
流動負債合計	66,241	67,029
固定負債		
長期借入金	221	215
退職給付に係る負債	3,781	3,690
その他	521	554
固定負債合計	4,525	4,460
負債合計	70,767	71,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,533	12,533
資本剰余金	14,569	14,569
利益剰余金	96,087	95,767
自己株式	△10,631	△10,611
株主資本合計	112,559	112,259
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,200	2,063
繰延ヘッジ損益	△0	△2
為替換算調整勘定	△11,000	△10,619
退職給付に係る調整累計額	△951	△924
その他の包括利益累計額合計	△9,752	△9,482
新株予約権	40	40
非支配株主持分	11,075	11,463
純資産合計	113,923	114,280
負債純資産合計	184,690	185,770

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	36,312	39,169
売上原価	28,785	30,885
売上総利益	7,526	8,283
販売費及び一般管理費	6,355	6,330
営業利益	1,170	1,953
営業外収益		
受取利息	264	356
受取配当金	94	87
為替差益	87	—
その他	96	79
営業外収益合計	543	522
営業外費用		
支払利息	33	48
為替差損	—	43
その他	20	12
営業外費用合計	53	104
経常利益	1,659	2,371
特別利益		
固定資産売却益	2	1
特別利益合計	2	1
特別損失		
固定資産除売却損	7	23
投資有価証券評価損	—	0
事務所移転費用	164	—
特別損失合計	172	24
税金等調整前四半期純利益	1,489	2,348
法人税、住民税及び事業税	801	916
法人税等調整額	△355	△490
法人税等合計	445	426
四半期純利益	1,044	1,922
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△17	214
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,061	1,707

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,044	1,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	109	△136
繰延ヘッジ損益	△0	△2
為替換算調整勘定	△3,113	552
退職給付に係る調整額	45	27
その他の包括利益合計	△2,959	440
四半期包括利益	△1,915	2,363
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,620	1,976
非支配株主に係る四半期包括利益	△295	386

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社（早期適用子会社を除く）は、当第1四半期連結会計期間より、IFRS16号（リース）を適用しています。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上しています。当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	東アジア	南アジア	北米・欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,190	11,464	4,648	6,009	36,312	—	36,312
セグメント間の内部 売上高又は振替高	709	1,871	17	22	2,620	△2,620	—
計	14,899	13,335	4,665	6,031	38,932	△2,620	36,312
セグメント利益又は 損失(△)	235	△126	822	192	1,123	46	1,170

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額46百万円には、セグメント間取引消去△0百万円およびたな卸資産の調整額46百万円が含まれています。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	東アジア	南アジア	北米・欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,281	12,622	4,154	6,110	39,169	—	39,169
セグメント間の内部 売上高又は振替高	715	2,003	—	14	2,733	△2,733	—
計	16,996	14,626	4,154	6,125	41,902	△2,733	39,169
セグメント利益	626	417	716	234	1,995	△41	1,953

(注) 1 セグメント利益の調整額△41百万円には、セグメント間取引消去△0百万円およびたな卸資産の調整額△41百万円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来の報告セグメント「北米」と「欧州」は、「欧州」の量的な重要性が乏しくなったため、「北米・欧州」に集約して記載する方法に変更しています。なお、前年同四半期の数値は変更後のセグメント区分に組み替えた数値で記載しています。